

平和展

いわさきちひろ

パネル展と

DVD上映会

協力：ちひろ美術館



いわさきちひろ
「シクラメンの花の
なかの子どもたち」1973年



いわさきちひろ
「^{ほのお}焰のなかの母と子」1973年

パネル展

7月17日(水)～
8月20日(火)
9時～21時

DVD上映会「いわさきちひろ
～27歳の旅立ち～」

8月13日(火)

1回目 10時半～12時 2回目 17時半～19時

参加費：無料 定員：各回 30名(当日先着順)

対象：大田区在住、在勤、在学の方

いわさきちひろは、子どもを生涯のテーマとして描き続け 9500点をこえる作品を残しました。子育てをしながら積み重ねた子どものスケッチに見られる鋭い観察力や水彩画ならではの柔らかさを持つ独特のタッチが特徴的な画家です。「世界中の子ども みんなに平和としあわせを」と願って、戦争と平和をテーマとした作品を残しました。今回は『戦火のなかの子どもたち』『わたしがちいさかったときに』の2冊の絵本の「平和パネル」と代表作の複製画を展示いたします。また、ドキュメンタリー「いわさきちひろ～27歳の旅立ち」のDVD上映会を行います。彼女の作品にあふれる平和への願いを感じてみませんか？

【主催】大田区立男女平等推進センター「エセナおおた」

2019

いわさきちひろ

福井県武生（現・越前市）に生まれ、東京で育つ。子どもを生涯のテーマとして描き続けた画家で、観察力とデザイン力を駆使して作品のなかに子どものあらゆる姿を描き出した。東洋の伝統的な水墨画の技法にも通じる、にじみやぼかしを生かした独特な水彩画が特徴的で、絵本といっても絵は従、文章あつてのものに過ぎないと考えられがちだった時代に絵が主体の絵本を描いた画家であった。戦争をテーマに子どもの幸せと平和を願って描いたのが、『戦火のなかの子どもたち』『わたしがちいさかったときに』などの作品である。1974年肝ガンのため死去。享年55歳。

現在、東京都練馬区と長野県の安曇野に美術館があり、年間を通じて彼女の作品を愛する多くの人たちが訪れている。



いわさきちひろ
「見つめる少女」
1967年



いわさきちひろ
「わらびを持つ少女」
1972年

主催・問合せ先

〒143-0016 大田区大森北 4-16-4

大田区立男女平等推進センター

「エセナおおた」

(JR大森駅から徒歩8分)

☎ : 03-3766-4586

FAX : 03-5764-0604

E-MAIL : escena@escenaota.jp

青春時代に戦争を体験したいわさきちひろは、一貫して平和を願い、命の大切さをあらかず作品を生み出していった。戦火に追われ赤ん坊を抱きしめる母親の必死な表情、未来を失い茫然とした子ども…彼女はかけがえのない命の一瞬を切実な思いを込めて描き続けたのである。



JR京浜東北線 大森駅より徒歩8分
駐車場はありません。